

私と清掃活動

奥村 千鶴子さん(三島団地)



“愛南の人々にありがとうを伝えたい”



◀「ここを通る人が歩きやすいように」
思いを込めた清掃活動が表彰された

毎朝子どもたちの登校を見守りながら清掃活動を行う奥村千鶴子さん。三島団地を拠点に長月川の土手や菜庵橋までの広範囲にわたって、毎日3時間ほど側溝の落ち葉拾いや草刈り、伐採などを続けています。「大変やろと言われることもあるけど、昔から掃除が好きで苦に思ったことはないし、掃き終えた後は普通の生活で感じるような大きな達成感を味わえる」と話す奥村さん。落ち葉などは近隣の畑で処理させてもらうなど、地域の方々の協力もあり天候不良の日以外、20年間にわたり道路の美化活動に努めてきました。その功績がたたえられ、今年の8月には公益社団法人日本道路協会会長から表彰を受けました。

阪神淡路大震災で被災後、愛南町に帰郷した奥村さんは、自分たちを受け入れてくれた温かな町や人々に対する感謝の気持ちを地域の清掃という形で恩返ししています。その姿を毎日見守り続ける地域の方や子どもたちからは『いつもご苦労さまです。ありがとう』の言葉や感謝状、お礼の手紙が届くこともあり、あいさつや掃除を通して奥村さんの思いは、着実に地域へ伝わっています。

これからも長く継続していけるようにと、体に気を使いながら作業をする奥村さん。「地域の清掃は私の生きがい。いやだと思ったことは一度もないし、好きだからこそこれからもずっと続けていきたい」と笑顔で話しました。

編集後記

学生時代、運動が得意ではなかった私にとって体育祭は憂鬱な行事の一つでした。19年ぶりの体育祭は私の記憶とは打って変わり、生徒たちの熱い思いが溢れる青春の時間で、応援団長・副団長という華々しい役を担った6人。共に高め合い、競い合う生徒たち一人一人の輝く姿がカメラ越しに私の脳裏に焼き付き、胸が熱くなりました。

昔に戻りたくなるのは歳を重ねた証拠でしょうか。

「牛は目で物語るよ」と池田さんが教えてくれました。立派に育った牛はとても大きく迫力があありますが、とても綺麗で優しい目をしていました。カメラを向けると嫌がるかな、なんて気にしていましたが、むしろカメラ目線。写真を撮りっぱい撮らせてくれて、撫でさせてくれて、短い時間でしたが取材を通して、牛を通して多くのことを学びました。

愛潔日本一が鹿児島島に向けて出発する日、精一杯見送ります。 M

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和4年9月1日現在

世帯数	10,054世帯 (-12世帯)
人口	19,733人 (-38人)
男	9,372人 (-18人)
女	10,361人 (-20人)
愛南町の高齢化率	45.6%
※ () 内は前月比	
10年前 同月の人口	24,582人